

令和6年度第4四半期企画提案に係る改訂ポイント

令和6年度第1～3四半期から主な変更点は下記の通りです。

1 要領（要領3ページ）

問い合わせ先のメールアドレスを委託訓練専用アドレスに変更。

2 仕様書

（1）講師の配置について追記（仕様書4ページ）

デジタルコースについては、20人に1人以上講師を配置すること。

（2）受託要件の追加（仕様書5, 7ページ）

令和6年度国の要領改正に伴い、「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート（別紙6）」に該当するカリキュラムを設定していることを受託要件とし、仕様書に追記する。

また、障害者から社会的障壁の除去を必要としている旨の意思表示があった場合、負担が過剰にならない範囲で必要かつ合理的な配慮をすること。

（3）就職支援経費の対象月数を明記（仕様書10ページ）

就職支援経費の訓練実施月数の上限を6か月とすることを明記。

※表記のみ変更。令和6年度第1～3四半期と同様の取り扱いとする。

（4）DX推進スキル標準対応コースについて追記（仕様書18ページ）

第4（2）提出書類にDX推進スキル標準対応コースについて追記。

3 様式

（1）デジタルリテラシーチェックシートについて（様式2-2、別紙6）

カリキュラムにデジタルリテラシーを含んでいることを確認し、別紙6にチェックを入れて提出すること。また、訓練内容（企画提案書様式2-2）において該当部分に項目番号を記入すること。

（2）訓練計画表の入力シートについて（様式2-3）

訓練計画表（企画提案書様式2-3）について、実施月ごとにシートを分けて入力するもの。

（3）提出方法の一部変更（ハローワークシステム入力票）

提案書を提出後、ハローワークシステム入力票をExcelまたはPDFデータにて委託訓練専用メールアドレスへ提出すること。提出期限は令和6年7月24日（水）とする。

(4) サービスガイドライン研修の受講について（様式5、委託訓練コース要素点検表）

就職支援担当者名簿（企画提案書様式5）の記載事項を「受講証明日」から「有効期限」に変更する。また、「委託訓練コース要素点検表」に有効期限の記載を追加。

(5) 教室面積の記載方法の変更（委託訓練コース要素点検表）

「委託訓練コース要素点検表」において、訓練を実施する教室のうち、最小のものを記載すること。休憩室等は含まないものとする。

(6) 参考様式の項目について（経費内訳書）

経費内訳（参考様式）から「諸費」を削除したもの。委託費に該当する経費項目がある場合は、項目名を明記すること。

(7) 提出前チェック欄を追加（企画提案書一覧書）

質問等が多い項目について、企画提案書一覧書にチェック欄を設けたもの。